

おしえて!シンコ先生

第1回 たすけて!シンコ先生



【ご案内】

東海税理士会デジタルシステム部では、会計業務のデジタル化のお役に立つことをめざして、パソコン知識の入門まんがの連載を開始しました。

業務に必要なパソコン知識は多岐にわたりますが、基本はおどろくほどシンプルな約束事できあがっています。私たちはいったん初心者の視点に戻って、パソコンの操作知識やしくみについて、丁寧に確認して行きたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

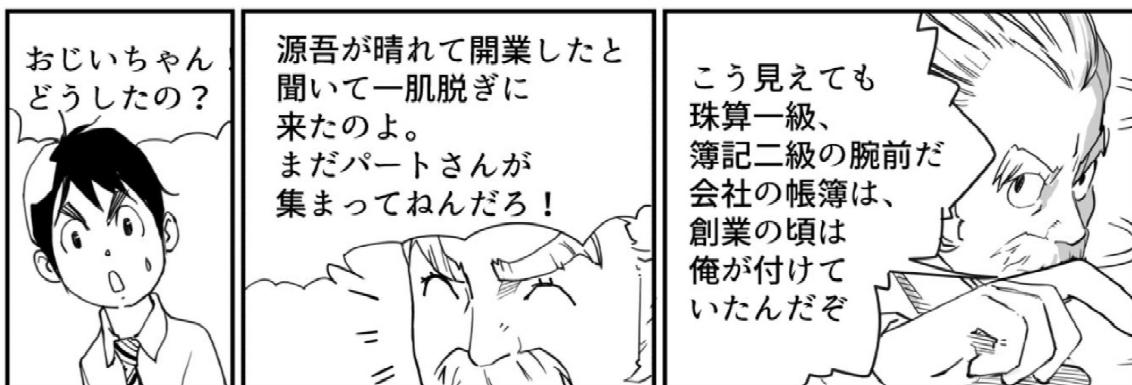


【パソコン豆知識】

日本で最初のマウスは、アスキー(株)の創業者で、マイクロソフト日本支社長(当時)だった、西和彦氏の企画で、1983年に発売されています。

製造委託を受けたのは、電機メーカーのアルプス電気(現アルプスアルパイン)でした。当初、アルプス電気では、マウスについての予備知識がなく、ロボットの鼠が迷路を探索するおもちゃの開発を依頼されたのかと思ったそうです。

アルプス電気のスタッフが驚いたのが、マウスの価格です。西和彦が指を三本立てて示したのを、「3千円ですか」と尋ねたら、西が、「3万円だ」というので驚いたといいます。その根拠を尋ねたら、「市場にまだ存在しない製品の価格は、製造原価+利益で考えるのではない。お客がいくらなら買うかを想定して決めるのだ」とのことでした。当時珍しかったマウスは、マニアならばそのくらいのお金を払う価値があったのです。



【パソコン豆知識】

源吾くんのおじいちゃんが言うように、コンピュータはもともと電子の算盤として発明されました。半導体を算盤の串として、電子を算盤の珠として使う算盤です。

パソコンも、中味は計算機なので、たとえば絵を描いたり動画を再生したりという機能も、機械の裏側では、「計算」としておこなわれています。コンピュータは、計算に還元できる仕事ならば、経理でも、設計でも、エンジンの制御でも、なんでもできる万能ツールです。



【パソコン豆知識】

マウスは1963年にダグラス・エンゲルバートによって考案され、1968年に公開されています。これを製品化したのは、コピー機で有名なゼロックス社です。初めてマウスを操作したスティーブ・ジョブズ（アップルの創業者）は、「まるでコンピュータの中に手を突っ込んで操作しているような感覚だ。一度これを体験したら、もう元には戻れない」と、驚嘆したといいます。